

# 令和4年度 政策推進部の運営方針

部	政策推進部	部長	市川 信行
監	小林 一裕 (総合政策監)	監	小林 聡 (危機管理監)

## 【基本方針】

政策推進部では、市の政策をまとめ、実行するための施策に関する企画、調整に加えて、市民への情報発信や市民からの情報提供を受けるとともに、施策を実行する職員の人事管理、防災対策などを所管しています。

全国的な少子高齢化、人口減少や地方経済の衰退などの課題に対して、にぎわいと活力ある市であり続けるために、市民との協働や公民連携した取組による行政運営や多様な広報媒体を活用した情報発信と収集に努めてまいります。

また、危機管理につきましては、それぞれの市民が、お住まいの地域の災害リスクを適切に理解し、迅速な避難行動をとることができるよう、「総合防災マップ」の改訂に取り組むとともに、災害に備えた防災体制の整備や防災行動力の向上及び指定避難所の機能強化に努めてまいります。また、地域防災の要である消防団の充実強化として、本部から各消防団への指揮系統の確保や円滑な情報収集を行えるよう、デジタル簡易無線の配備を行います。

## 【重点目標】

1	目標	(5)	みんなで作る暮らし続けられるまち	分野	市政運営	令和4年度 達成状況
	まちの魅力や暮らしに関する情報を、広報かしわら、柏原市ウェブサイト、SNSなど、多様な媒体を活用し発信していきます。					B
2	目標	(5)	みんなで作る暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和4年度 達成状況
	大学及び民間との連携による事業の推進					A
3	目標	(5)	みんなで作る暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和4年度 達成状況
	職員の能力向上					B
4	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防災	令和4年度 達成状況
	総合防災マップの改訂					A
5	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防災	令和4年度 達成状況
	消防団を中核とした地域防災力の充実強化					A
6	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防災	令和4年度 達成状況
	指定避難所の機能強化					A

### 【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点目標 1	まちの魅力や暮らしに関する情報を、広報かしわら、柏原市ウェブサイト、SNSなど、多様な媒体を活用し発信していきます。
--------	--

今年度の達成目標
広報誌やウェブサイト、SNSなどを活用して、柏原市の情報をできるだけ分かりやすく正確に、市内外に発信することで、まちの魅力の向上に貢献します。

達成状況	達成度
柏原市公式LINEを再開し、リニューアルしたことで、柏原市の情報を届ける手段が一つ増え、より多くの市内外の方に市の施策や観光情報を届けることができました。	B 概ね達成

具体的取組	
新しくLINEによる市政情報の発信を始めるなど、各種媒体を活用してより幅広く情報発信に努めます。	
所管室・課	秘書広報課

具体的な取組実績
柏原市公式LINEを再開し、毎週末に行われるイベントの告知や市政情報、柏原市を取り上げたテレビ放送のお知らせを発信するなど、これまでの広報誌やウェブサイトなどに加えて新しい情報発信の媒体を増やしました。

総合評価・総括
柏原市公式LINEを再開したことで、市政情報を発信できる手段が増え、より多くの方に柏原市の魅力を発信できるようになり、シティプロモーションと市への愛着の醸成に役立ったと考えられます。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
情報の受け取り手の満足度を向上させるため、柏原市のどのような情報を必要としているのかを把握していきたいと考えます。また、SNSの認知度を上げていかなければならないので、SNSのPR活動も必要です。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点目標 2	大学及び民間との連携による事業の推進
--------	--------------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
大学及び民間企業との連携による目指すまちに向けた取組を進めます。	大学連携では、学生の提案からの事業実施が行われ、民間企業連携では企業版ふるさと納税の活用が行われるなど、目標としていた大学、民間企業双方との連携による取組が進みました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
大学との連携による、学生の地域資源を活用した取組への参画 所管室・課 企画調整課	大阪教育大学の多文化フィールドワークの授業において、大和川河川敷空間のオープン化に伴う活用提案を検討し、うちウォーターサバゲーを第2回ロハスパーク大阪柏原にて実施しました。また、同大学の安全科学研究法の授業では、健康づくり課と協働で健康ウォーキング手帳のリニューアルをフィールドワークも含めて実施しました。
民間企業の力を活用した取組の充実 所管室・課 企画調整課	包括連携協定を締結している第一生命保険株式会社から企業版ふるさと納税を受け、健康ウォーキング手帳のリニューアルを行うことができたほか、リニューアル作業への協力も受けました。また、他に1件の企業版ふるさと納税を受けることができました。

総合評価・総括	全体の達成度
今年度は大学、民間企業の両方において連携した取組が充実したことから、今年度の目標とする部分は達成しました。	A 達成

今後検討すべきこと
大学との連携事業については、今後も複数年度継続した事業とする継続性の確保が必要であると考えています。また、民間企業との連携や企業版ふるさと納税については、既存メニューでの連携拡充に加えて、新たに市として課題となっている部分での連携事業を作り上げていくことが必要であると考えています。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点目標 3	職員の能力向上
--------	---------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
質の高い市民サービスを提供できるよう、職員ひとりひとりの能力向上を図る研修を実施します。	階層ごとに必要なスキルの習得を図ることができました。また、法律研修の実施により法律の知識を身につけるとともに、コンプライアンス意識の向上を図ることができました。	B 概ね達成

具体的取組	
階層別研修(新採、中堅職員、管理職員)をはじめ、課題に応じた研修を実施します。	
所管室・課	人事課

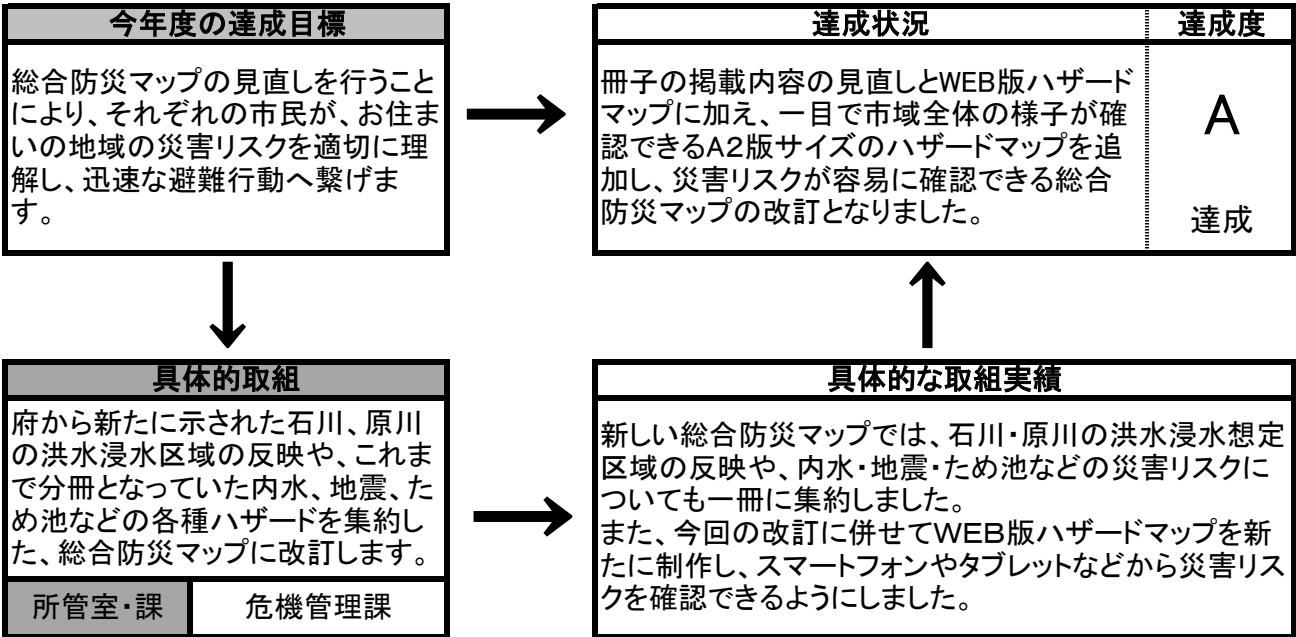
具体的な取組実績
新採、若手・中堅職員、管理職員といった階層別研修の実施に加え、令和4年度の新たな取組として勤続年数に応じた法律研修を初級・中級・上級の計3回実施しました。

総合評価・総括	全体の達成度
市政運営にあたって必要な知識の取得やスキルの向上に資する研修を実施することができました。	B 概ね達成

今後検討すべきこと
令和4年度から実施した法律研修を継続的に実施できるよう実施方法や内容のブラッシュアップを行います。また、時勢に応じた課題を研修テーマとできるよう、調査研究を継続します。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点目標 4	総合防災マップの改訂
--------	------------



総合評価・総括	全体の達成度
<p>今回の改訂により、新たな災害リスクの掲載や、防災情報に関する啓発ページなど、掲載内容の大幅な見直しを行いました。この総合防災マップをより多くの方に確認していただくためWEB版ハザードマップの閲覧サービスについても新たに開始することができました。また、A2版ハザードマップも作成し、一目で市域全体の災害リスクが確認できる総合防災マップとなりました。</p>	<p>A</p> <p>達成</p>

今後検討すべきこと
<p>石川・原川の洪水浸水想定が新たに示されたことから、浸水のおそれがある地域の避難判断や、的確な避難情報の発信について見直しを行います。市民が安全な場所へ避難できる時間を確保するため、柏原市地域防災計画や避難情報の判断・伝達マニュアルへ反映させるなど、市が実施する災害対策について検討を行っていきます。</p>

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点目標 5	消防団を中核とした地域防災力の充実強化
--------	---------------------

今年度の達成目標
市民の安全確保を図るため、消防団の災害対応力を強化します。



達成状況	達成度
消防団活動に必要な資機材を計画通り更新するとともに、チェーンソーやエンジンカッターの取扱いなど、大規模災害を想定した災害対応演習を行いました。	A 達成

今年度の達成目標
消防団と地域が連携することにより、地域防災力の向上を図ります。



達成状況	達成度
コロナ禍の影響もありましたが、訓練内容の変更や開催規模の縮小など、必要な感染症対策を行いながら、地域と連携して自主防災訓練を行いました。	A 達成



具体的取組
デジタル簡易無線の配備及び消防用ホースの更新を行い、災害対応体制を強化します。



具体的な取組実績
デジタル簡易無線機25台の配備と消防用ホース23本の更新を行いました。デジタル簡易無線機の整備により、消防団本部、消防団詰所、災害現場における通信体制を構築することができました。

所管室・課	危機管理課
具体的取組	
地域自主防災訓練に消防団が参加し、地域住民に災害対応技術の指導・啓発を行います。	



具体的な取組実績
消火器の取扱いや応急手当に係る指導・啓発に加え、地域と連携して避難所開設訓練を行うなど、6地区25町会で開催された自主防災訓練に参加しました。



総合評価・総括
資機材の整備や各種訓練を繰り返し行うことにより、消防団の災害対応力を強化することができました。地域防災力を高めていくためには、消防団と地域との連携が最も重要であることから、コロナ禍の影響により防災活動を自粛している地域へ活動の再開を促すなど、地域に密着した取組を進めていきます。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
近年は、台風や線状降水帯など激甚化する風水害への対応もあり、消防団の活動がますます多様化する中、消防団活動を担う人材確保が急務となっています。そのため自主防災訓練の機会も活用して消防団員募集の呼びかけを行うなど、消防団の組織強化に努めていきます。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点目標 6	指定避難所の機能強化
--------	------------

今年度の達成目標
避難所が停電した場合においても、運営を継続していきます。
今年度の達成目標
避難所の感染症対策に取り組み、コロナ禍であっても開設・運営が円滑にできるよう、準備をすすめます。

達成状況	達成度
発電機及び投光器を配備したことにより、避難所が停電した際でも、夜間の照明や電源が確保でき、継続して避難所運営できる状態にしました。	A 達成
達成状況	達成度
避難所において感染防止対策に必要な備品の配備と、それらを活用した訓練を行うことで、円滑に避難所を開設・運営できる準備を整えました。	A 達成

具体的取組	
指定避難所に発電機及び投光器を配備します。	
所管室・課	危機管理課
具体的取組	
指定避難所に段ボールベッドやルームテントなど感染症対策備品を配備します。	
所管室・課	危機管理課

具体的な取組実績
避難所における停電対策として、市内3カ所の指定避難所に発電機及び投光器を配備しました。
具体的な取組実績
避難所における感染症対策として、市内3カ所の指定避難所に段ボールベッドやルームテント等を配備しました。また、地域の自主防災訓練や避難所運営演習において、これら備品の取扱い訓練を行いました。

総合評価・総括
避難所における感染症対策及び停電対策に必要な備品を配備することにより、災害時に安心して避難していただけるよう、避難所の機能強化を図ることができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
避難所での物資備蓄を進めるためには、多くの収納スペースが必要となりますが、避難施設の管理者と協議を行いながら、引き続き拡充に努めていきます。また、備蓄していない物資についても、民間事業者との協定締結により、円滑に調達できる体制整備を進めていきます。